

航空関連業界で働く女性の仕事を紹介する学生向けイベント「女性航空教室」が14日に都内で催され銅合金の鑄造品・鍛造品メーカー大和合金(本社・東京都板橋区、社長・萩野源次郎氏)の女子社員二人が講演した。同社は航空機関連素材を注力分野とし、着陸時に使うランディングギアの軸受向けなどに素材を供給している。

イベントは日本航空機操縦士協会や日本航空技術協会、日本女性航空協会などが主催し経済産業省や国土交通省などが後援。会場・リモート参加含め学生や関係者ら約120人が聴講した。挨拶に立った経産省の相馬知子

大和合金 学生向けイベント「女性航空教室」に協力 女子社員2人が仕事紹介



講演するパークハート係長(左)と高木さん

経済社会政策室長は「活躍する女性の先輩話せることがプラスに話をする機会。夢を現する一日にして行動し、先回りしていたら仕事で喜んでもらえ待たされたら充実感が得られ待たされたら」と話した。さまざま業種・職種から海外営業の事務員、米国出身のパークハート係長は英語教師を担当する高木実菜から転身。入社から航空

んと、製品開発課のパークハート・ローレン係長がプレゼンした。高木さんは海外人材が多い部門に配属。「普段から英語を身近に感じられ、さあまざまな文が求められることに満足感がある。また素材がなければ飛行機が完成せず、必要とされると感じられることもやりがい」と話した。萩野社長は「一つの部材の材料でも航空機を動かすため重要な役割がある。航空関連業界の裾野の広さを皆さんに知ってほしい」とコメントしている。